



## 「第73回全国茶品評会」で

### 農林水産大臣賞を受賞

ますだ つよみ  
**増田剛巳**さん

#### PROFILE

ますだ つよみ(朝比奈原・66)  
株式会社やまま満寿多園代表取締役。  
緑茶生産、緑茶製造、販売を地元農家と連携し、緑茶を海外へ輸出する取り組みを20年以上も前から始めている。

#### 農林水産大臣賞を受賞

今年8月27日から3日間にわたり愛知県西尾市で開かれた「第73回全国茶品評会」で、株式会社やまま満寿多園が最

高位となる農林水産大臣賞を受賞した。品評会には「深蒸し煎茶の部」へ出品。134品がしのぎを削る中、見事満点の評価を得て栄冠を手にした。今回の受賞は、市内や遠州夢咲農協管内でも23年ぶりとなるもので、増田さんは「率直にうれしいの一言に尽きます。受賞の連絡を受けたときは、事務所で万歳三唱をして喜びました」と話す。

今回、品評会に出品するお茶を摘んだときは決して良い条件ではなかった。今年は春先に雨が降り続いていたのだ。「摘み取りのタイミングが難しかったです。出品するお茶を摘み取った日も午後から雨が降ってね、決している条件ではなかった。お茶の葉は気候や温度の変化に敏感で、摘み取りが1日ずれるだけで品質は大きく変わってしまいます。条件に恵まれたからといって必ずしもお茶の出来が良くなるというわけでもあり

ません。今回は摘み取ったとさきだけ晴れるなど運も良く、さまざまな出来事が重なって良いものが出来上がりました」と振り返る。

#### 御前崎のお茶を世界に

現在、本市を含め茶業が衰退の危機にある。その原因として、食文化の変化とともに日本人のお茶離れが進んでいること、急須に茶葉を入れて飲むリーフ茶の消費が減ってきていること、生産者の高齢化などが挙げられる。増田さんは自社の製品を約30カ国に輸出するなど順調に評価を得る中で、日本の伝統であり健康にも効果があるお茶を海外で広めている。

増田さんは今後の目標を「緑茶をこれまで以上に世界でメジャーな飲み物にすることです。そのためにはより多くの国で嗜好品として御前崎茶が飲まれるようにもっとPRをすることが重要です。これからも茶業を盛り上げるため、微力ながらできることを頑張っていきます」と笑顔で意気込んだ。増田さんの挑戦はこれからも続いていく。